

報道関係者各位



AIRMOBILITY

2021年10月20日

エアモビリティ株式会社

エアモビリティ株式会社が、米国の「空飛ぶクルマ (eVTOL) 」メーカー

Bartini (バルティニー) 社と独占販売契約に基本合意

「空飛ぶクルマ (eVTOL)」の販売やサービスのためのプラットフォームを開発するエアモビリティ株式会社 (本社：東京都港区、代表取締役社長&CEO：浅井 尚) は、米国の「空飛ぶクルマ」メーカーである Bartini (バルティニー) 社と独占販売契約に基本合意しました。



Bartini 社は、伝統的な旧ソ連の航空技術をベースとして米国にて 2017 年に設立されました。Bartini 社の機体は、高いエネルギー効率や冗長性、省スペースでの離着陸などに特徴があり、大幅な運用コストの削減を達成できると期待されております。

また、電池と水素燃料によるハイブリッドエンジンを採用することで、Bartini 社の機体は、バッテリー単体駆動の機体に比べて最大約 4 倍の航続距離を達成できます。

空気力学的に洗練された形状を持つキャビンは、飛行効率の向上によるコストダウンを実現するだけでなく、エレガントなデザインや、キャビン内の快適性をも実現いたします。また、プロペラは遮蔽されることで安全も担保しつつ、より速く、よりクリーンな移動を可能にします。

Bartini 社では、長年、民間航空会社向けに旅客機を製造・認証してきた確かな実績を持つ航空技術者チ

ームを保有しております。同社の技術をベースにした「空飛ぶクルマ」が、地上交通の混雑、汚染、疲労、長さ、複雑さなど、従来のモビリティの課題を解消できるものと確信しております。

Bartini 社は、2025 年に販売を開始する予定です。

【Bartini 社 CEO Ílya Khanykóv 氏のコメント】

我々Bartini 社はエアモビリティ社と、我々の重要な市場の一つである日本において、販売代理店契約を締結でき大変嬉しく思います。我々は、日本では環境、コミュニティ、安全性、高品質の革新性、美学を大切にしていることを知っており、私たちが開発した「空飛ぶクルマ」はそのニーズに必ず応えられると考えております。我々はエアモビリティ社と日本市場での長く実りある関係が構築できるのを楽しみにしております。

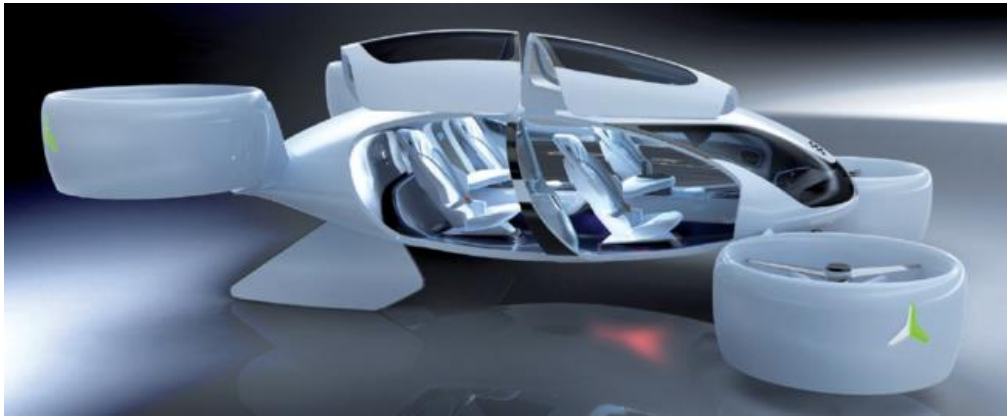
【エアモビリティ株式会社 代表取締役社長&CEO 浅井尚のコメント】

最近「空飛ぶクルマ」の話題は各メディアでも頻繁に取り上げられるようになってきました。そして2025年の大阪・関西万博では「空飛ぶクルマ」を使った輸送サービスも提供される予定です。各自治体からも「空飛ぶクルマ」を活用したサービス構築に向けた相談を度々いただくようになりました。このように「空飛ぶクルマ」産業は確実に動き出し、広がってきておりますが、それに合わせてニーズも多様化してきており、そのニーズに合った「空飛ぶクルマ」をいかに提供できるかが大きな課題でもあります。エアモビリティ社では、それらのニーズに対応できるような「空飛ぶクルマ」のラインナップを拡充するため、今回 Bartini 社との独占販売契約に基本合意しました。すでに契約しております Dufour Aerospace 社、VRCO 社と合わせて、多様なマーケットニーズに対応できる体制が整うと考えております。

■Bartini 社の「空飛ぶクルマ」詳細

4つのダクト式スラスターがチルトシフトすることにより巡航モードに移行します。巡航モードで揚力を提供し、対地速度を上げ、ローターを地面に対して垂直に傾けることにより時速300km(162ノット)で飛行するように設計されています。この「空飛ぶクルマ」は、2人乗り、4人乗り、リチウム電池、水素燃料電池の4種類があります。水素燃料電池は、ほぼ2時間で最大550kmの距離をカバーし、リチウム電池は、30分の飛行で150kmの範囲をカバーします。リチウム電池、水素燃料電池による2倍の冗長性、ノードの二重化、可動部の極少化、ブレード周りのダクトによる効率化などにより、究極の安全性を実現。この構成により、騒音対策に対して相当な効力を発揮します。操縦は、マニュアルと自律飛行の2つのモードを用意しています。

・ Bartini 社の「空飛ぶクルマ」イメージ



■Bartini 社について

米国に拠点を置く航空機メーカー

2017年に設立され、現在は米国デラウェア州の法人 Bartini, Inc.が代表を務めています。その研究開発（R&D）センターは、ロシアのモスクワ南郊外にある航空技術者の街、ジューコフスキーに拠点を置いています。Bartini 社のエンジニア、アドバイザーなどのスタッフは、世界トップレベルの民間航空機設計会社や航空交通戦略コンサルタント会社の出身者です。40人以上のチームには、航空力学、航空工学、空域統合、製造、都市計画などのスペシャリストが揃っています。デザインと製造に関しては、イタルデザイン社（イタリア・トリノ）と協力しています。

Bartini 社の詳細については、以下をご確認ください。

URL：<https://bartini.aero/>

■エアモビリティ株式会社について

エアモビリティ株式会社は、「空飛ぶクルマ」の販売やサービスに関するインフラをプラットフォーム上に構築し、「空飛ぶクルマ」が簡単かつ安全に航行できるサービスを提供することを目的として、2019年8月1日に設立されました。メインプラットフォームである ASCP（エアモビリティ・サービス・コラボレーション・プラットフォーム）の自社開発をはじめ、海外の「空飛ぶクルマ」メーカーの日本市場参入の支援も行っております。

その他、経済産業省と国土交通省が設立した「空の移動革命に向けた官民協議会」や、大阪府が主催する「空の移動革命社会実装 大阪ラウンドテーブル」の構成員に選出され、日本における「空飛ぶクルマ」産業に創成期からコアメンバーとして参画しております。

【会社概要】

会社名：エアモビリティ株式会社

代表者：代表取締役社長&CEO 浅井 尚

所在地：東京都港区赤坂 3-5-5 ストロング赤坂ビル 9F

URL：<https://www.airmobility.co.jp/>

【お問い合わせ先】

エアモビリティ株式会社 元井

TEL: 03-6273-1288 / FAX: 03-6273-1289 / E-mail: info@airmobility.co.jp